

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: 2024/05/31
3.0 2026/02/05 203000008831 国 / 言語: JP / JA

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : VIRKON S
製品コード : 000000000057805885

供給者の会社名称、住所及び電話番号

会社名 : ランクセス株式会社
東京都千代田区丸の内 1-6-5
100-8215, Japan

担当部門 : +813 5293 8010
info-sds-jp@lanxess.com

緊急連絡電話番号 : 24 時間 365 日、多言語での緊急連絡は、CHEMTREC APAC:
+65 3163 8374 に電話し、CCN 1001750 を伝えてください。

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 消毒剤

2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類

皮膚腐食性／刺激性 : 区分 2
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 : 区分 1
水生環境有害性 短期（急性） : 区分 2
水生環境有害性 長期（慢性） : 区分 3

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル :



版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: 2024/05/31
3.0 2026/02/05 203000008831 国 / 言語: JP / JA

注意喚起語	: 危険
危険有害性情報	: H315 皮膚刺激。 H318 重篤な眼の損傷。 H401 水生生物に毒性。 H412 長期継続的影響によって水生生物に有害。
注意書き	: 安全対策: P264 取扱い後は皮膚をよく洗うこと。 P273 環境への放出を避けること。 P280 保護手袋／保護眼鏡／保護面を着用すること。 応急措置: P302 + P352 皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。 P305 + P351 + P338 + P310 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。 P332 + P313 皮膚刺激が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。 P362 + P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。 廃棄: P501 内容物／容器を承認された処理施設に廃棄すること。

GHS 分類に該当しない他の危険有害性
知見なし。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

成分

化学名	CAS 番号	含有量 (% w/w)
ペルオキシ硫酸（硫酸）カリウム	70693-62-8	>= 40 - < 50
アルキルベンゼンスルホン酸ナトリウム	68411-30-3	12
リンゴ酸	6915-15-7	>= 10 - < 20
スルファミン酸	5329-14-6	>= 1 - < 10
ペルオキシ二硫酸二カリウム (不純物)	7727-21-1	2.5
硫酸水素カリウム	7646-93-7	>= 1 - < 10

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/05/31
3.0	2026/02/05	203000008831	国 / 言語: JP / JA

ない行動は行ってはならない。

医師に対する特別な注意事項 : 症状に応じた治療を行う。

5. 火災時の措置

- | | |
|-------------|--|
| 適切な消火剤 | : 火災発生時には、ウォータースプレー、泡沫あるいは粉末化学消火剤を使用する。 |
| 使ってはならない消火剤 | : 二酸化炭素 (CO ₂)
大型棒状の水 |
| 特有の危険有害性 | : 火災時には消火用水が排水溝ないし水路へ流出しないよう防止すること。 |
| 有害燃焼副産物 | : 硫黄酸化物
金属酸化物
二酸化炭素 (CO ₂)
一酸化炭素
窒素酸化物 (NO _x)
ハロゲン化合物 |
| 特有の消火方法 | : 汚染した消火廃水は回収すること。排水施設に流してはならない。
火災の残留物や汚染した消火廃水は、関係法規に従って処理する。 |
| 消火を行う者の保護 | : 消火活動時には必要に応じて 自給式呼吸装置を装着する。 |

6. 漏出時の措置

- | | |
|---------------------------|---|
| 人体に対する注意事項、保護
具及び緊急時措置 | : 保護具を使用する。
粉じんの発生を避ける。
粉じんを吸い込まないよう留意。 |
| 環境に対する注意事項 | : 製品を排水施設に流してはならない。
安全を確認してから、もれやこぼれを止める。
製品が河川、湖水または排水管を汚染した場合は、関連当局に連絡する。 |
| 封じ込め及び浄化の方法及び | : 石灰、アルカリ溶液、またはアンモニアで中和する。 |

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/05/31
3.0	2026/02/05	203000008831	国 / 言語: JP / JA

機材	廃棄に備え適切な容器に入れて蓋をしておく。
----	-----------------------

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

火災及び爆発の予防 : 粉じんの発生を避ける。
粉じんが発生する場所では、換気を適切に行う。

安全取扱注意事項 : 防湿する。

吸入性粉じんが発生しないように留意する。
蒸気/粉じんを吸い込まない。
皮膚や眼への接触を避けること。
個人保護については項目 8 を参照する。
作業エリアでは、喫煙、飲食は禁止する。
洗浄水は、国及び地方自治体の規制に従い処分する。

接触回避 : 酸に配合禁忌。
可燃性物質
酸化剤
強塩基類
真ちゅう
シアン化物
銅
ハロゲン化合物
金属塩。

衛生対策 : 使用中は飲食しないこと。
使用中は禁煙。
休憩前や終業時には手を洗う。

保管

安全な保管条件 : 防湿する。
以下の物質に近づけないこと :
可燃性物質
強塩基類

容器を密閉し、乾燥した換気の良い場所に保管する。
一度開けた容器は注意深く再度密封し、漏れを避けるためま
っすぐ立てておく。
電気設備及び作業資材は技術安全基準に準拠していなければ
ならない。

混触禁止物質 : アルカリ類に近づけないこと。

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: 2024/05/31
3.0 2026/02/05 203000008831 国 / 言語: JP / JA

推奨された保管温度 : < 50 ° C

保管安定性に関する詳しい情報 : 乾燥した場所に保管する。

推奨保管条件下では安定。

8. ばく露防止及び保護措置

作業環境における成分別暴露限界/許容濃度

成分	CAS 番号	指標 (暴露形態)	管理濃度 / 濃度基準値 / 許容濃度	出典
ペルオキシ二硫酸二カリウム	7727-21-1	TWA	0.1 mg/m ³ (過硫酸塩)	ACGIH

設備対策 : ユーザーの作業により粉塵、ヒューム、ガス、蒸気またはミストが発生する場合は、作業行程の囲い込み、局所的排気通風装置あるいはその他の技術的制御により、作業者の空中に浮遊している汚染物質への暴露を全ての推奨値あるいは法定限度以下に保つこと。

保護具

呼吸用保護具 : 粉じんおよびエアゾール形成の場合は、適合したフィルターの付いた呼吸装置を使用する。

フィルタータイプ : 推奨されるフィルターのタイプ:
ABEK-P2 フィルター

手の保護具

材質 : ブチルゴム - IIR
摩耗時間 : < 60 min

備考 : 製造メーカーと相談の上、作業場所に相応しい防護手袋を着用すること。汚染された手袋は地区の法規制に従い廃棄されること。

眼の保護具 : 密着性の高い安全ゴーグル
プロセス中に異常が起きた場合は、顔面シールドと保護服を着用する。

皮膚及び身体の保護具 : 適切な保護服を着用する。
微粒子不浸透性保護服
作業場にある危険物質の量および濃度に応じて、保護具を選

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/05/31
3.0	2026/02/05	203000008831	国 / 言語: JP / JA

択する。

9. 物理的及び化学的性質

外観	: 粉末
物理状態	: 固体
色	: 桃色
臭い	: 好ましい臭気, 甘い臭い
臭いのしきい(閾)値	: データなし
融点/ 範囲	: データなし
沸点/ 沸騰範囲	: データなし
爆発下限界及び爆発上限界/ 可燃限界	
爆発範囲の上限 / 可燃上限	: データなし
値	
爆発範囲の下限 / 可燃下限	: データなし
値	
引火点	: データなし
自己発火性	: データなし
分解温度	: > 50 ° C
pH	: 2.35 - 2.65 含有量: 10 %
蒸発速度	: データなし
燃焼価	: データなし
粘度	
粘度(粘性率)	: データなし
動粘度(動粘性率)	: データなし

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/05/31
3.0	2026/02/05	203000008831	国 / 言語: JP / JA

溶解度	
水溶性	: 65 grm/l
溶媒に対する溶解性	: データなし
n-オクタノール／水分配係数 (log 値)	: 非該当 調製
蒸気圧	: データなし
密度及び／又は相対密度 比重	: データなし
密度	: 1.07 g/cm ³ (20 ° C)
爆発特性	: データなし
酸化特性	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: この製品またはその成分に関しては、反応性に関する利用可能な具体的試験データはない。
化学的安定性	: 通常の状態では安定。
危険有害反応可能性	: 通常の貯蔵および使用条件下では、有害な反応は起こらない。 粉じんは空気中で爆発性の混合物を生成することがある。
避けるべき条件	: 湿気への暴露。
混触危険物質	: 酸に配合禁忌。 可燃性物質 酸化剤 強塩基類 真ちゅう シアン化物 銅 ハロゲン化化合物 金属塩。
危険有害な分解生成物	: 酸素 塩素

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/05/31
3.0	2026/02/05	203000008831	国 / 言語: JP / JA

硫黄酸化物
次亜塩素酸塩類

11. 有害性情報

急性毒性

入手可能なデータに基づく分類基準は満たされない。

製品:

急性毒性（経口） : LD50 (ラット, オスおよびメス): 4,123 mg/kg
方法: OECD 試験ガイドライン 401
GLP: 該当

急性毒性（吸入） : LC50 (ラット): 3.7 mg/l
曝露時間: 4 h
試験環境: 粉じん/ミスト
方法: OECD 試験ガイドライン 403
アセスメント: この物質または混合物は急性の吸入毒性は無い。
備考: 本製品の粒度測定によると、本製品は非呼吸性であり、吸入経路を通じた体内への吸収がないことを示す。

急性毒性（経皮） : LD50 (ラット): > 5,000 mg/kg
備考: (EC) No. 440/2008 に基づく推定

成分:

ペルオキシ硫酸（硫酸）カリウム:

急性毒性（経口） : LD50 (ラット, オスおよびメス): 500 mg/kg
方法: OECD 試験ガイドライン 423

急性毒性（吸入） : LC0 (ラット, オス): > 5 mg/l
曝露時間: 4 h
試験環境: 粉じん/ミスト
方法: OECD 試験ガイドライン 403
アセスメント: この物質または混合物は急性の吸入毒性は無い。
備考: 最高生成濃度

急性毒性（経皮） : LD50 (ラット, オスおよびメス): > 5,000 mg/kg
方法: OECD 試験ガイドライン 402
備考: (EC) No. 440/2008 に基づく推定

アルキルベンゼンスルホン酸ナトリウム:

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: 2024/05/31
3.0 2026/02/05 203000008831 国 / 言語: JP / JA

急性毒性（経口） : LD50 (ラット, オスおよびメス): 1,080 mg/kg
方法: OECD 試験ガイドライン 401
GLP: 非該当

急性毒性（経皮） : LD50 (ラット, オスおよびメス): > 2,000 mg/kg
方法: OECD 試験ガイドライン 402
GLP: 該当
アセスメント: この物質または混合物は急性の皮膚毒性は無い。
備考: 試験時の投与量による死亡は認められない

リンゴ酸:

急性毒性（経口） : LD50 (ラット, オスおよびメス): 3,500 mg/kg
方法: OECD 試験ガイドライン 401
GLP: 非該当

急性毒性（吸入） : LC0 (ラット, オスおよびメス): > 1.306 mg/l
曝露時間: 4 h
試験環境: 粉じん/ミスト
方法: OECD 試験ガイドライン 403
備考: 最高生成濃度

急性毒性（経皮） : LD50 (ウサギ, メス): > 5,000 mg/kg
方法: OECD 試験ガイドライン 401
GLP: 非該当

スルファミン酸:

急性毒性（経口） : LD50 (ラット, メス): 2,140 mg/kg
方法: OECD 試験ガイドライン 401
GLP: 該当

急性毒性（経皮） : LD50 (ラット, オスおよびメス): > 2,000 mg/kg
方法: OECD 試験ガイドライン 402
GLP: 該当
アセスメント: この物質または混合物は急性の皮膚毒性は無い。

ペルオキシ二硫酸ニカリウム:

急性毒性（経口） : LD50 (ラット): 700 mg/kg

急性毒性（吸入） : LC0 (ラット): > 2.95 mg/l
曝露時間: 4 h
試験環境: 粉じん/ミスト
備考: 最高生成濃度

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/05/31
3.0	2026/02/05	203000008831	国 / 言語: JP / JA

急性毒性（経皮） : LD50 (ウサギ): > 10,000 mg/kg

硫酸水素カリウム:

急性毒性（経口） : LD50 (ラット): 2,340 mg/kg

二硫酸ニカリウム:

急性毒性（経口） : LD50 (ラット, オス): 2,140 mg/kg
方法: OECD 試験ガイドライン 401
備考: 類似物質/製品に関する試験結果。

急性毒性（吸入） : アセスメント: 呼吸器官に腐食性である。

アセスメント: 成分/混合物は短時間の吸引後有毒。

ナトリウム＝４－トルエンスルホナート:

急性毒性（経口） : LD50 (ラット): 6,500 mg/kg

急性毒性（経皮） : LD50 (ウサギ): > 2,000 mg/kg

４－イソプロペニル－１－メチルシクロヘキサー－１－エン:

急性毒性（経口） : LD50 (ラット): 5,300 mg/kg

急性毒性（経皮） : LD50 (ラット): > 5,000 mg/kg

皮膚腐食性／刺激性

皮膚刺激。

製品:

種 : ウサギ
方法 : OECD 試験ガイドライン 404
結果 : 皮膚に刺激性。

成分:

ペルオキシ硫酸（硫酸）カリウム:

種 : ウサギ
方法 : OECD 試験ガイドライン 404
結果 : 火傷を起します。

アルキルベンゼンスルホン酸ナトリウム:

種 : ウサギ
方法 : OECD 試験ガイドライン 404

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: 2024/05/31
3.0 2026/02/05 203000008831 国 / 言語: JP / JA

結果 : 皮膚に刺激性。
GLP : 非該当

リンゴ酸:

種 : ウサギ
方法 : OECD 試験ガイドライン 404
結果 : 皮膚刺激なし

スルファミン酸:

種 : ウサギ
方法 : OECD 試験ガイドライン 404
結果 : 皮膚に刺激性。

ペルオキシ二硫酸二カリウム:

種 : ウサギ
方法 : OECD 試験ガイドライン 404
結果 : 皮膚に刺激性。

硫酸水素カリウム:

アセスメント : 火傷を起します。

二硫酸二カリウム:

アセスメント : 重度の火傷を起こす。

ナトリウム=4-トルエンスルホナート:

種 : ウサギ
結果 : 皮膚に刺激性。

4-イソプロペニル-1-メチルシクロヘキサー-1-エン:

アセスメント : 皮膚に刺激性。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

重篤な眼の損傷。

成分:**ペルオキシ硫酸（硫酸）カリウム:**

種 : ウサギ
結果 : 眼に重傷のおそれ。
方法 : OECD 試験ガイドライン 405

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: 2024/05/31
3.0 2026/02/05 203000008831 国 / 言語: JP / JA

アルキルベンゼンスルホン酸ナトリウム:

種 : ウサギ
結果 : 眼に対する不可逆的影響
方法 : OECD 試験ガイドライン 405
GLP : 該当

リンゴ酸:

種 : ウサギ
結果 : 眼に刺激性。
方法 : OECD 試験ガイドライン 405

スルファミン酸:

種 : ウサギ
結果 : 眼に刺激性。
方法 : OECD 試験ガイドライン 405

ペルオキシ二硫酸ナトリウム:

結果 : 眼に刺激性。

二硫酸ナトリウム:

アセスメント : 眼に重傷のおそれ。

ナトリウム=4-トルエンスルホナート:

種 : ウサギ
結果 : 眼に刺激性。

呼吸器感作性又は皮膚感作性**皮膚感作性**

入手可能なデータに基づく分類基準は満たされない。

呼吸器感作性

入手可能なデータに基づく分類基準は満たされない。

製品:

暴露の主経路 : 皮膚接触
種 : モルモット
方法 : OECD 試験ガイドライン 406
結果 : 動物実験では感作性なし。

: 吸入
: 哺乳動物-種の明記なし
: 専門家の判断

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/05/31
3.0	2026/02/05	203000008831	国 / 言語: JP / JA

: 呼吸器を過敏化させない。

成分:**ペルオキシ硫酸（硫酸）カリウム:**

暴露の主経路	: 皮膚接触
種	: モルモット
方法	: OECD 試験ガイドライン 406
結果	: 皮膚を過敏化させない。

アルキルベンゼンスルホン酸ナトリウム:

試験タイプ	: マキシマイゼーション試験
暴露の主経路	: 皮膚接触
種	: モルモット
方法	: OECD 試験ガイドライン 406
結果	: 動物実験では感作性なし。
GLP	: 該当

リンゴ酸:

暴露の主経路	: 皮膚接触
種	: モルモット
方法	: OECD 試験ガイドライン 406
結果	: 動物実験では感作性なし。
GLP	: 該当

スルファミン酸:

結果	: 動物実験では感作性なし。
----	----------------

ペルオキシ二硫酸二カリウム:

暴露の主経路	: 吸入
種	: 哺乳動物-種の明記なし
結果	: 吸入による感作発生の可能性。

暴露の主経路	: 皮膚接触
種	: マウス
方法	: OECD 試験ガイドライン 429
結果	: 皮膚に触れると感作を起すことがある。

ナトリウム=4-トルエンスルホナート:

暴露の主経路	: 皮膚接触
種	: モルモット
方法	: OECD 試験ガイドライン 406

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: 2024/05/31
3.0 2026/02/05 203000008831 国 / 言語: JP / JA

結果 : 動物実験では感作性なし。

4-イソプロペニル-1-メチルシクロヘキサ-1-エン:

試験タイプ : マキシマイゼーション試験
暴露の主経路 : 経皮
種 : モルモット
結果 : 皮膚に触れると感作を起すことがある。

種 : マウス
結果 : 感作を起こす。

生殖細胞変異原性

データが不足しているので分類されていない。

成分:

ペルオキシ硫酸（硫酸）カリウム:

in vitro での遺伝毒性 : テストシステム: 哺乳類-動物
代謝活性化: 代謝活性化の存在または不存在
方法: OECD 試験ガイドライン 476
結果: 陽性
GLP: 該当

テストシステム: バクテリア
代謝活性化: 代謝活性化の存在または不存在
方法: OECD 試験ガイドライン 471
結果: 陰性
GLP: 該当

テストシステム: 哺乳類-ヒト
代謝活性化: 代謝活性化の存在または不存在
方法: OECD 試験ガイドライン 473
結果: 陽性
GLP: 該当

in vivo での遺伝毒性 : 種: 哺乳類-動物
投与経路: 経口
方法: OECD 試験ガイドライン 474
結果: 陰性

アルキルベンゼンスルホン酸ナトリウム:

in vitro での遺伝毒性 : 試験タイプ: Ames 試験
テストシステム: Salmonella typhimurium
代謝活性化: 代謝活性化の存在または不存在
方法: OECD 試験ガイドライン 471

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/05/31
3.0	2026/02/05	203000008831	国 / 言語: JP / JA

結果: 陰性
GLP: 該当

試験タイプ: in vitro 染色体異常試験
テストシステム: チャイニーズハムスター卵巣細胞
代謝活性化: (代謝不活性)
方法: OECD 試験ガイドライン 473
結果: 陰性
GLP: 該当

試験タイプ: in vitro 染色体異常試験
テストシステム: チャイニーズハムスター卵巣細胞
代謝活性化: (代謝活性化)
方法: OECD 試験ガイドライン 473
結果: 陽性
GLP: 該当

試験タイプ: in vitro 哺乳動物細胞遺伝子変異試験
テストシステム: チャイニーズハムスター卵巣細胞
代謝活性化: 代謝活性化の存在または不存在
方法: OECD 試験ガイドライン 476
結果: 陰性
GLP: 該当

in vivo での遺伝毒性 : 試験タイプ: 染色体分析
種: マウス (オス)
細胞型: 骨髓
投与経路: 経口
結果: 陰性
GLP: 非該当

試験タイプ: 優性致死試験
種: マウス (オス)
投与経路: 経口
結果: 陰性
GLP: 非該当

リンゴ酸:

in vitro での遺伝毒性 : 備考: 標準的な遺伝毒性試験において変異原性は認められない。

スルファミン酸:

in vitro での遺伝毒性 : テストシステム: 哺乳類-ヒト
代謝活性化: 代謝活性化の存在または不存在
方法: OECD 試験ガイドライン 487

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/05/31
3.0	2026/02/05	203000008831	国 / 言語: JP / JA

結果: 陰性
GLP: 該当

テストシステム: 哺乳類-動物
代謝活性化: 代謝活性化の存在または不存在
方法: OECD 試験ガイドライン 476
結果: 陰性

テストシステム: バクテリア
代謝活性化: 代謝活性化の存在または不存在
方法: OECD 試験ガイドライン 471
結果: 陰性

ペルオキシ二硫酸二カリウム:

in vitro での遺伝毒性 : 備考: 標準的な遺伝毒性試験において変異原性は認められない。

ナトリウム=4-トルエンスルホナート:

in vitro での遺伝毒性 : 備考: 変異原性作用なし

発がん性

データが不足しているので分類されていない。

生殖毒性

データが不足しているので分類されていない。

成分:

ペルオキシ硫酸(硫酸)カリウム:

胎児の発育への影響 : 備考: 試験を行なったどの容量レベルにおいても、催奇形性および胎児毒性作用は認められなかった。

アルキルベンゼンスルホン酸ナトリウム:

妊娠に対する影響 : 試験タイプ: 三世代試験
種: ラット, オスおよびメス
投与経路: 経口
投与量: 0 - 14 - 70 ミリグラム / 1 キログラムあたり
一般毒性 親: NOAEL: 350 mg/kg 体重
一般毒性 第一世代: NOAEL: 350 mg/kg 体重
一般毒性 第二世代: NOAEL: 350 mg/kg 体重
生殖力: NOAEL: 350 mg/kg 体重
結果: 生殖への影響はないことが動物実験で明らかになった。
GLP: 非該当
備考: 類似物質/製品に関する試験結果。

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/05/31
3.0	2026/02/05	203000008831	国 / 言語: JP / JA

胎児の発育への影響 : 種: ラット, メス
投与経路: 経口
母体の一般毒性: NOAEL: 300 mg/kg 体重
催奇形性: NOAEL: 300 mg/kg 体重
結果: 催奇影響はない。
GLP: 非該当
備考: 類似物質/製品に関する試験結果。

リンゴ酸:

胎児の発育への影響 : 備考: 重大な作用や危険有害性は知られていない。

特定標的臓器毒性（単回ばく露）

データが不足しているので分類されていない。

成分:**ペルオキシ二硫酸ニカリウム:**

アセスメント : 呼吸器への刺激のおそれ。

硫酸水素カリウム:

アセスメント : 呼吸器への刺激のおそれ。

特定標的臓器毒性（反復ばく露）

データが不足しているので分類されていない。

反復投与毒性**成分:****ペルオキシ硫酸（硫酸）カリウム:**

種 : ラット, オスおよびメス
LOAEL : > 1,000 mg/kg
投与経路 : 経口
曝露時間 : 28 d
曝露回数 : 7 日数/週
方法 : OECD 試験ガイドライン 407
備考 : 亜急性毒性

種 : ラット, オスおよびメス
LOAEL : 600 mg/kg
投与経路 : 経口
曝露時間 : 90 d
曝露回数 : 7 日数/週
方法 : OECD 試験ガイドライン 408

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: 2024/05/31
3.0 2026/02/05 203000008831 国 / 言語: JP / JA

備考 : 亜慢性毒性

アルキルベンゼンスルホン酸ナトリウム:

種 : ラット, オスおよびメス
NOAEL : 85 mg/kg
LOAEL : 145 mg/kg
投与経路 : 経口
曝露時間 : 36 w
曝露回数 : 毎日
GLP : 非該当
備考 : 亜慢性毒性

リンゴ酸:

備考 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

ナトリウム=4-トルエンスルホナート:

種 : ラット
NOAEL : 114 mg/kg
投与経路 : 経口
曝露時間 : 91 d
方法 : OECD 試験ガイドライン 408
備考 : 亜慢性毒性

誤えん有害性

データが不足しているので分類されていない。

詳細情報

製品:

備考 : データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

製品:

魚毒性 : LC50 (Salmo salar (大西洋鮭)): 24.6 mg/l
曝露時間: 96 h
方法: 理事会規則 (EC) No. 440/2008, 付属書, C.1
備考: 淡水

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 6.5 mg/l
に対する毒性 曝露時間: 48 h

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: 2024/05/31
3.0 2026/02/05 203000008831 国 / 言語: JP / JA

方法: OECD 試験ガイドライン 202
備考: 淡水

藻類／水生生物に対する毒性 : 最大無影響濃度 (Desmodesmus subspicatus (セネデスムス・サプスピカトゥス)): 6.25 mg/l
曝露時間: 72 h
方法: OECD 試験ガイドライン 201
備考: 淡水

成分:

ペルオキシ硫酸（硫酸）カリウム:

魚毒性 : LC50 (Oncorhynchus mykiss (ニジマス)): 53 mg/l
曝露時間: 96 h
方法: OECD 試験ガイドライン 203
GLP: 該当
備考: 淡水

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 3.5 mg/l
に対する毒性 曝露時間: 48 h
方法: OECD 試験ガイドライン 202
GLP: 該当
備考: 淡水

藻類／水生生物に対する毒性 : EC50 (Pseudokirchneriella subcapitata (ムレミカツキモ)): > 1 mg/l
曝露時間: 72 h
方法: OECD 試験ガイドライン 201
GLP: 該当
備考: 淡水

最大無影響濃度 (Pseudokirchneriella subcapitata (ムレミカツキモ)): 0.5 mg/l
曝露時間: 72 h
方法: OECD 試験ガイドライン 201
GLP: 該当
備考: 淡水

アルキルベンゼンスルホン酸ナトリウム:

魚毒性 : LC50 (Pimephales promelas (ファットヘッドミノウ)): 2.88 mg/l
曝露時間: 96 h
分析モニタリング: 該当
方法: OECD 試験ガイドライン 203
GLP: 非該当

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: 2024/05/31
3.0 2026/02/05 203000008831 国 / 言語: JP / JA

備考: 淡水

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 (*Daphnia magna* (オオミジンコ)): 2.9 mg/l
に対する毒性
曝露時間: 48 h
分析モニタリング: 該当
方法: OECD 試験ガイドライン 202
GLP: 該当
備考: 淡水

藻類／水生生物に対する毒性 : ErC50 (*Pseudokirchneriella subcapitata* (緑藻)): 235 mg/l
曝露時間: 72 h
分析モニタリング: 非該当
方法: OECD 試験ガイドライン 201
GLP: 非該当
備考: 淡水

EC10 (*Pseudokirchneriella subcapitata* (緑藻)): 13.1 mg/l
曝露時間: 72 h
分析モニタリング: 非該当
方法: OECD 試験ガイドライン 201
GLP: 非該当
備考: 淡水

魚毒性 (慢性毒性) : 最大無影響濃度 (*Oncorhynchus mykiss* (ニジマス)): 0.23 mg/l
曝露時間: 72 d
分析モニタリング: 該当
方法: OECD 試験ガイドライン 210
GLP: 非該当
備考: 淡水

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : 最大無影響濃度 (*Daphnia magna* (オオミジンコ)): 1.18 mg/l
に対する毒性 (慢性毒性)
曝露時間: 21 d
分析モニタリング: 該当
方法: OECD 試験ガイドライン 211
GLP: 非該当
備考: 淡水

リンゴ酸:

魚毒性 : LC50 (*Danio rerio* (ゼブラフィッシュ)): > 100 mg/l
曝露時間: 96 h
方法: OECD 試験ガイドライン 203
GLP: 該当
備考: 淡水

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 (*Daphnia magna* (オオミジンコ)): 240 mg/l

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/05/31
3.0	2026/02/05	203000008831	国 / 言語: JP / JA

に対する毒性

曝露時間: 48 h
方法: OECD 試験ガイドライン 202
GLP: 該当
備考: 淡水

藻類／水生生物に対する毒性 :

EC50 (藻類): > 100 mg/l
曝露時間: 72 h
方法: OECD 試験ガイドライン 201
GLP: 該当
備考: 淡水

最大無影響濃度 (藻類): 100 mg/l
曝露時間: 72 h
方法: OECD 試験ガイドライン 201
GLP: 該当
備考: 淡水

スルファミン酸:

魚毒性

: LC50 (Pimephales promelas (ファットヘッドミノウ)): 70.3 mg/l
曝露時間: 96 h
方法: OECD 試験ガイドライン 203
GLP: 非該当
備考: 淡水

ミジンコ等の水生無脊椎動物
に対する毒性 :

EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 71.6 mg/l
曝露時間: 48 h
方法: OECD 試験ガイドライン 202
GLP: 該当
備考: 淡水

藻類／水生生物に対する毒性 :

EC50 (Desmodesmus subspicatus (緑藻)): 48 mg/l
エンドポイント: 成長速度
曝露時間: 72 h
方法: OECD 試験ガイドライン 201
GLP: 該当
備考: 淡水

最大無影響濃度 (Desmodesmus subspicatus (緑藻)): 18 mg/l
エンドポイント: 成長速度
曝露時間: 72 h
方法: OECD 試験ガイドライン 201
GLP: 該当
備考: 淡水

魚毒性 (慢性毒性)

: 最大無影響濃度 (Danio rerio (ゼブラフィッシュ)): >= 60

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/05/31
3.0	2026/02/05	203000008831	国 / 言語: JP / JA

mg/l

曝露時間: 34 d

方法: OECD 試験ガイドライン 210

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : 最大無影響濃度 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 19 mg/l
に対する毒性 (慢性毒性) 曝露時間: 21 d
方法: OECD 試験ガイドライン 211

微生物に対する毒性 : EC50: > 200 mg/l
エンドポイント: 呼吸抑制
曝露時間: 3 h
方法: OECD 試験ガイドライン 209
GLP: 該当
備考: 淡水

ペルオキシ二硫酸ニカリウム:

魚毒性 : LC50 (Oncorhynchus mykiss (ニジマス)): 76.3 mg/l
曝露時間: 96 h

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 120 mg/l
に対する毒性 曝露時間: 48 h

藻類／水生生物に対する毒性 : EC50 (Pseudokirchneriella subcapitata (ムレミカヅキ
モ)): 83.7 mg/l
曝露時間: 72 h
方法: OECD 試験ガイドライン 201

環境毒性アセスメント

水生環境有害性 長期 (慢性) : 本製品には既知の生体毒性は無い。

二硫酸ニカリウム:

魚毒性 : LC50 (Pimephales promelas (ファットヘッドミノウ)): 680
mg/l
曝露時間: 96 h
備考: 淡水

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 720 mg/l
に対する毒性 曝露時間: 48 h
備考: 淡水

藻類／水生生物に対する毒性 : EC50 (Pseudokirchneriella subcapitata (ムレミカヅキ
モ)): 1,492 mg/l
曝露時間: 96 h

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: 2024/05/31
3.0 2026/02/05 203000008831 国 / 言語: JP / JA

備考: 淡水

EC10 (*Pseudokirchneriella subcapitata* (ムレミカツキモ)): 656 mg/l

曝露時間: 96 h

備考: 淡水

魚毒性 (慢性毒性) : 最大無影響濃度 (*Pimephales promelas* (ファットヘッドミノウ)): > 595 mg/l
曝露時間: 7 Days
備考: 淡水

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : 最大無影響濃度 (*Ceriodaphnia dubia* (ニセネコゼミジンコ)): 790 mg/l
に対する毒性 (慢性毒性)
曝露時間: 7 Days
備考: 淡水

ナトリウム=4-トルエンシルホナート:

魚毒性 : LC50 (*Oncorhynchus mykiss* (ニジマス)): > 490 mg/l
曝露時間: 96 h
備考: 淡水

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 (*Daphnia magna* (オオミジンコ)): > 318 mg/l
に対する毒性
曝露時間: 48 h
備考: 淡水

藻類/水生生物に対する毒性 : EC50 (*Desmodesmus subspicatus* (緑藻)): 245 mg/l
曝露時間: 72 h
方法: OECD 試験ガイドライン 201
備考: 淡水

最大無影響濃度 (*Desmodesmus subspicatus* (緑藻)): 18 mg/l
曝露時間: 72 h
備考: 淡水

4-イソプロペニル-1-メチルシクロヘキサ-1-エン:

魚毒性 : LC50 (*Pimephales promelas* (ファットヘッドミノウ)): 0.702 mg/l
曝露時間: 96 h
備考: 淡水

LC50 (*Oryzias latipes* (和メダカ)): 1.1 mg/l
曝露時間: 96 h

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 (*Daphnia magna* (オオミジンコ)): 0.7 mg/l

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: 2024/05/31
3.0 2026/02/05 203000008831 国 / 言語: JP / JA

に対する毒性

曝露時間: 48 h
備考: 淡水

藻類／水生生物に対する毒性 : EC50 (*Pseudokirchneriella subcapitata* (緑藻)): > 1.6 mg/l
曝露時間: 72 h

EC50 (*Selenastrum capricornutum* (緑藻)): > 1.81 mg/l
曝露時間: 96 h

最大無影響濃度 (*Pseudokirchneriella subcapitata* (緑藻)):
1.6 mg/l
曝露時間: 72 h

M-ファクター (水生環境有害 : 1
性 短期 (急性))

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : 最大無影響濃度 (*Daphnia magna* (オオミジンコ)): 0.27 mg/l
に対する毒性 (慢性毒性) 曝露時間: 21 d

M-ファクター (水生環境有害 : 1
性 長期 (慢性))

残留性・分解性

成分:

ペルオキシ硫酸 (硫酸) カリウム:

生分解性 : 結果: 専門家の判断: 水生環境で慢性的に生物学的に利用可能
ではない
備考: 生分解性の判定方法は無機物質には適用されない。

アルキルベンゼンスルホン酸ナトリウム:

生分解性 : 結果: 易分解性。
生分解: 83 %
曝露時間: 28 d
方法: OECD テスト ガイドライン 301B
GLP: 該当

リンゴ酸:

生分解性 : 好気性
結果: 易分解性。
生分解: 67.5 %
曝露時間: 28 d
方法: OECD テスト ガイドライン 301B
GLP: 該当

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/05/31
3.0	2026/02/05	203000008831	国 / 言語: JP / JA

スルファミン酸:

生分解性 : 結果: 生分解性の判定方法は無機物質には適用されない。

ペルオキシ二硫酸ニカリウム:

生分解性 : 結果: 生分解性の判定方法は無機物質には適用されない。

二硫酸ニカリウム:

生分解性 : 結果: 生分解性の判定方法は無機物質には適用されない。

ナトリウム＝４－トルエンスルホナート:

生分解性 : 結果: 易分解性ではない。
生分解: 0 - 2 %
曝露時間: 28 d
方法: OECD テスト ガイドライン 301C

４－イソプロペニル－１－メチルシクロヘキサー１－エン:

生分解性 : 結果: 易分解性。
方法: OECD テスト ガイドライン 301C

生体蓄積性**成分:****ペルオキシ硫酸（硫酸）カリウム:**

n-オクタノール／水分配係数 : log Pow: < 0.3
(log 値) 方法: OECD 試験ガイドライン 117

アルキルベンゼンスルホン酸ナトリウム:

n-オクタノール／水分配係数 : log Pow: 1.4 (23 ° C)
(log 値) 方法: OECD 試験ガイドライン 123

リンゴ酸:

n-オクタノール／水分配係数 : log Pow: -1.26
(log 値)

スルファミン酸:

n-オクタノール／水分配係数 : log Pow: -4.34
(log 値)

４－イソプロペニル－１－メチルシクロヘキサー１－エン:

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/05/31
3.0	2026/02/05	203000008831	国 / 言語: JP / JA

n-オクタノール／水分配係数 : log Pow: 4.57
(log 値)

土壤中の移動性

データなし

オゾン層への有害性

非該当

他の有害影響**製品:**

生態系に関する追加情報 : 職業上の規則に反した取り扱い、処理が行われた場合は、環境に及ぼす危険性を除外して考えることはできない。
水生生物に毒性。
長期継続的影響によって水生生物に有害。

13. 廃棄上の注意**廃棄方法**

残余廃棄物 : 本製品を排水溝、水路、地面に流さないこと。
薬剤または使用済み容器で池、水路、溝を汚染しないこと。
認可された廃棄物処理業者へ委託する。

汚染容器及び包装 : 残りの容器を空にする
製品入り容器と同様に処分する。
空の容器を再使用しない。

14. 輸送上の注意**国際規制****航空輸送 (IATA-DGR)**

UN/ID 番号 (UN/ID number)	: 非該当
国連輸送名 (Proper shipping name)	: 非該当
国連分類 (Class)	: 非該当
副次危険性 (Subsidiary risk)	: 非該当
ラベル (Labels)	: 非該当
梱包指示 (貨物機) (Packing instruction (cargo aircraft))	: 非該当
梱包指示 (旅客機) (Packing instruction (passenger aircraft))	: 非該当

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: 2024/05/31
3.0 2026/02/05 203000008831 国 / 言語: JP / JA

海上輸送 (IMDG-Code)

国連番号 : 非該当
国連輸送名 (Proper shipping name) : 非該当
国連分類 : 非該当
副次危険性 : 非該当
容器等級 : 非該当
ラベル : 非該当
EmS コード : 非該当
海洋汚染物質 (該当・非該当) : 非該当

MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質 (該当・非該当)

供給された状態の製品には非該当。

国内規制

国の特定の法規制は、項目 15 を参照する。

特別の安全対策**危険および取り扱い上の注意**

危険物ではない。
眼に重篤な障害のおそれ。
皮膚刺激性。
乾燥させておく。
食品に近付けない。

15. 適用法令**関連法規****消防法**

危険物、指定可燃物に該当しない。

化審法**優先評価化学物質**

化学名	番号
アルキルベンゼンスルホン酸ナトリウム (アルキルは炭素数が 10 から 14 までの直鎖アルカンの基に限る。)	140

労働安全衛生法**製造等が禁止される有害物**

非該当

版番号
3.0

改訂日:
2026/02/05

整理番号:
203000008831

前回改訂日: 2024/05/31
国 / 言語: JP / JA

製造の許可を受けるべき有害物

非該当

健康障害防止指針公表物質

非該当

変異原性の認められた化学物質（既存化学物質）

非該当

変異原性の認められた化学物質（新規届出化学物質）

非該当

名称等を通知すべき危険物及び有害物

法第 5 7 条の 2（則 34 条の 2 別表 2）

化学名	含有量 (%)	備考
DL-リンゴ酸	>=10 - <20	2026 年 4 月 1 日以降
スルファミン酸	>=1 - <10	2026 年 4 月 1 日以降
ペルオキシ二硫酸カリウム	>=1 - <10	-
硫酸水素カリウム	>=1 - <10	2025 年 4 月 1 日以降
ジベンテン	>=0.1 - <1	2025 年 4 月 1 日以降

名称等を表示すべき危険物及び有害物

法第 5 7 条（則 30 条別表 2）

化学名	備考
DL-リンゴ酸	2026 年 4 月 1 日以降
スルファミン酸	2026 年 4 月 1 日以降
ペルオキシ二硫酸カリウム	-
硫酸水素カリウム	2025 年 4 月 1 日以降

皮膚等障害化学物質（労働安全衛生規則第 594 条の 2）

化学名
ペルオキシ二硫酸カリウム
硫酸水素カリウム

がん原性物質（労働安全衛生規則第 577 条の 2）

非該当

特定化学物質障害予防規則

非該当

鉛中毒予防規則

非該当

四アルキル鉛中毒予防規則

非該当

有機溶剤中毒予防規則

非該当

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/05/31
3.0	2026/02/05	203000008831	国 / 言語: JP / JA

の有毒化学品および前駆体の
添付文章

16. その他の情報

本 SDS において労働安全衛生法の通知対象物質の濃度が幅表示の場合は、営業秘密である場合を含みます

日付フォーマット : 年/月/日

その他の略語の全文

ACGIH : 米国。ACGIH 限界閾値 (TLV)

ACGIH / TWA : 8 時間、時間加重平均

AIIIC - オーストラリアの工業化学品インベントリ; ANTT - ブラジル国家輸送機関; ASTM - 米国材料試験協会; bw - 体重; CMR - 発ガン性、変異原性、生殖毒性があるとされる物質; DIN - ドイツ規格協会基準; DSL - 国内物質リスト (カナダ); ECx - 任意の X% の反応を及ぼすと考えられる濃度; ELx - 任意の X% の反応を及ぼすと考えられる負荷割合; EmS - 緊急時のスケジュール; ENCS - 化審法の既存化学物質リスト; ErCx - 任意の X% の反応を及ぼすと考えられる成長率; ERG - 緊急対応の手引き; GHS - 世界調和システム; GLP - 試験実施規範; IARC - 国際がん研究機関; IATA - 国際航空運送協会; IBC - 危険化学品のばら積運送のための船舶の構造及び設備に関する国際規則; IC50 - 50% 阻害濃度; ICAO - 国際民間航空機関; IECSC - 中国現有化学物質名録; IMDG - 国際海上危険物規程; IMO - 国際海事機関; ISHL - 労働安全衛生法 (日本); ISO - 国際標準化機構; KECI - 韓国既存化学物質名録; LC50 - 50% 致死濃度; LD50 - 50% 致死量 (半数致死量); MARPOL - 船舶による汚染の防止のための国際条約; MERCOSUR - 危険物輸送円滑化協定; n. o. s. - 他に品名が明示されているものを除く; Nch - チリ規則; NO(A)EC - 無有害性影響濃度; NO(A)EL - 無有害性影響レベル; NOELR - 無有害性影響負荷割合; NOM - メキシコ公式規則; NTP - 米国国家毒性プログラム; NZIoC - ニュージーランド化学物質台帳; OECD - 経済協力開発機構; OPPTS - 化学物質安全性・公害防止局; PBT - 難分解性・生体蓄積性・有毒性 (物質); PICCS - フィリピン化学物質インベントリ; (Q)SAR - (定量的) 構造活性相関; REACH - 化学物質の登録、評価、認可および登録 (REACH) に関する規則 (EC) No 1907/2006; SADT - 自己加速分解温度; SDS - 安全データシート; TECI - タイに既存の化学物質のインベントリ; TCSI - 台湾化学物質インベントリ; TDG - 危険物輸送; TSCA - 有害物質規制法 (米国); UN - 国連; UNRTDG - 国際連合危険物輸送勧告; vPvB - 非常に難分解及び非常に高蓄積性; WHMIS - 作業場危険有害性物質情報システム

この安全データシートに含まれるデータは、当社の現在の知識と経験に基づき、安全要件に関してのみ製品の説明を行っています。与えられた情報は、安全な取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄および放出のためのガイダンスとしてのみ設計されており、処理ガイダンスとは見なされず、保証または品質仕様は含まれていません。この情報は、指定された特定の物質にのみ関連しており、本文で指定されていない限り、他の物質と組み合わせたり、あるいは処理で使用された物質には有効ではない場合があります。製品の受領者には、所有権および既存の条例や法律遵守を確認する責任があります。

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/05/31
3.0	2026/02/05	203000008831	国 / 言語: JP / JA

旧版からの関連する変更点は、安全データシートの左側の適切な場所に黒い二重のバーで表示されています。

JP / JA